生活安全課からのお知らせ（☎235・4789）

放置駐車の取り締まり強化

道路交通法の改正により、6月1日から違法駐車の取り締まり方法が変わります。短時間の駐車でも、取り締まり対象となったり、放置違反金が車の使用者に請求されたりすることがあります。放置違反金を納付しない場合、車検拒否の該当になることもあります。このほか、県内の最重要地域（市内は当面該当なし）では、警察官の取り締まりに加え、民間委託された駐車監視員が取り締まりにあたります。

※詳しくは、神奈川県警察本部ホームページまたは同本部交通部駐車対策課（☎045・211・1212）へお問い合わせください。

車を駐車する際は必ず駐車場を利用しましょう。

原付バイク駐車場 7月開始分を受付

市では、7月使用開始分の原付バイク（50cc以下）駐車場の申し込みを、海老名駅西口第4原付バイク駐車場管理棟で6月1日（木）から10日（土）まで受け付けます。定員を超えた場合は抽選となりますが、定員に満たない場合は15日（木）以降随時受け付けます。

また有料自転車駐車場は、定員まで毎日受け付けます（使用期限を迎える方は、期限の10日前から受付）。

使用期間は原付バイク・自転車とも最長6カ月です。いずれも日曜・祝日も受け付けています（料金等は下表のとおり）。

❶原付バイク駐車場

駐車場名	料金（月額）	募集台数	受付場所	受付時間
海老名駅西口第1	2,000円	管理棟へお問い合わせください。	海老名駅原付バイク駐車場管理棟 ☎235・5350	受付期間中の午前7時～午後7時
海老名駅西口第2				
海老名駅西口第4				

※申し込みは1人につき1台です。

❷自転車駐車場

駐車場名	料金（月額） 一般	料金（月額） 学生	募集台数（台）	受付場所	受付時間
海老名駅東口立体	1,500円	1,200円	600	海老名駅東口立体自転車駐車場内管理棟 ☎231・3990	午前7時～午後7時
海老名駅東口第2	1,000円	800円	600	海老名駅東口第2自転車駐車場内管理棟 ☎234・8664	
海老名駅東口第3	1,000円	800円	300		
海老名駅西口第1	1,000円	800円	500	海老名駅西口第1自転車駐車場内管理棟 ☎235・8883	
海老名駅西口第2	1,000円	800円	200		
海老名駅西口第3	500円	400円	500		
海老名駅西口第4	500円	400円	200		

※管理棟のみの受付となり、市役所では申し込みの受付は行いません。
※申し込みは1人につき1台です。

不法投業の撲滅にご協力を

問 資源対策課

不法投業や散乱ごみの問題が、社会問題として大きく取り上げられており、市でも山林沿いや河川敷などの不法投業が目立っています。昨年度は約27トンの散乱ごみなどを撤去し、処理費用は160万円に上っています。

こうしたことから、市では不法投業を撲滅するため、相模川美化キャンペーンや不法投業防止巡回パトロールなどを実施しています。また6月は、全国市長会の提唱で〝美しい日本〟をめざそう〟というスローガンの下、全国規模で不法投業をさせない環境づくりに取り組んでいきます。

「不法投業をしない、させない、許さない」環境づくりにご協力をお願いします。

環境にやさしいくらし

地球はあなたを写す鏡

6月5日は世界環境デー。日本では平成3年から毎年6月を「環境月間」としています。今回は環境についての特集です。

第7回 えびな環境展

6月15日（木）～30日（金）に市役所エントランスホールで、第7回えびな環境展を開催します。期間中、環境保全に役立つ設備や商品を展示します。詳しくは6月15日号でお知らせします。

6月15日～30日

一人ひとりが省エネを

「海老名の夏は暑い」とよく言われます。これは地形的な原因もありますが、地球温暖化やヒートアイランド現象も要因であると考えられます。

熱帯夜が増加 平均気温は1℃上昇

市の真夏日（最高気温が30℃以上の日）の日数は、平成2（1990）年ごろを境に増加傾向にあり、最高気温35℃以上の日も毎夏記録されています。

熱帯夜も増えており、平成2年以前は年間5日を超えたことはほとんどありませんでしたが、3年以降は急増し、年間10日以上の年も7回を数えます。

また年平均気温は昭和55年からの10年間は14・6℃でしたが、平成12（2000）年以降は15・5℃と約1℃上昇しています。

私たちの身の回りには、パソコンや携帯電話など15年ほど前と比較して新しい家電製品が多くなり、家庭からの二酸化炭素の排出量が増加しています。特に夏は冷房の排熱がさらに気温を上げ、ヒートアイランド化に拍車をかけています。

温暖化防止のため、冷房の設定温度を28℃にする、コンセントはこまめに抜くなど、一人ひとりが省エネを心がけましょう。

冷房は28℃に／コンセントはこまめに抜きましょう

ワットチェッカー貸し出します

日ごろ使っている電化製品がどのくらい電力を消費するかご存知ですか。

ワットチェッカーはコンセントに付けるだけでテレビや電子レンジなど家電製品の待機電力や電力量を測ることができる測定器です。ワットチェッカーで家電の使用の仕方を見直し、ご家庭の省エネ対策に役立ててください。

▽貸出期間　1家庭2週間まで

申 機械の空き状況を電話でお問い合わせの上、直接環境保全課窓口へ。

生ごみ減量でCO₂削減

市で排出した燃やせるごみの量は、みなさんのご協力により、平成17年10月から18年3月までの半年で、対前年比約1080トン（10・1%）を削減することができました。

また資源物の回収量は、前年比で約976トン（15・1%）増加しました。内容別では、紙類の回収量が608トン増と大幅に伸び、増加分の62%を占めています。

紙類1トンのリサイクルは、直径14センチ、高さ8メートルの木20本に相当するので、6カ月で1万2160本を守った計算になります。また、リサイクルせずに焼却した場合は、1トンにつき1・8トンの二酸化炭素が発生します。つまり昨年度は、二酸化炭素の発生を1094トン抑制できたことにもなります。

水切り徹底で1割軽く

しかし、新しい収集体制の減量目標（※）の15%削減には、あと5ポイントの削減が必要です。分別の成果で、燃やせるごみに混入していた古紙やプラスチック類は資源として回収されていますので、最も必要なのは「生ごみの一層の減量」です。

※昨年10月から今年9月までの燃やせるごみの排出総量を、その前年同時期（16年10月～17年9月＝2万2041トン）の15%減を目標としています。

生ごみの70%は水分です。ごみに出す前に①生ごみを新聞紙でくるみ一晩置く、②三角コーナーに目の細かいネットをつけて十分に水を切るなどで十分に水切りをすれば、それぞれ約1割水分が蒸発するので、ごみの減量に大きな効果があります。ぜひ水切りの徹底をお願いします。

自宅で生ごみ処理お試しください

また最近、生ごみを自宅で処理する方が増えています。代表的な処理法は、①電動式生ごみ処理機の使用、②EM菌を使った処理、③コンポスト容器での処理、④ピートモス・もみ殻くん炭・ダンボール箱を使った処理などです。

市では、①～③の機械や容器の購入に対して補助金を交付しています。

また④は補助金交付の対象外ですが、材料費は1000円程度です。処理方法などのお問い合わせは、随時資源対策課で応じています。ぜひお試しください。

平成16・17年度10月～3月のごみ・資源の収集状況　（単位：トン）

ごみ

	可燃物	不燃
16年度	10645	342
17年度	9565	440
伸び率	△10.1%	29%

紙類

	ダンボール	新聞	雑誌	ミックス	牛乳パック
16年度	518	2384	906	441	12.7
17年度	599	2594	984	678	15.4
伸び率	15.6%	8.8%	8.6%	53.7%	21.3%

資源

	紙類	布	容器プラスチック	ペットボトル	その他プラ	廃油	缶/鉄類	びん	合計
16年度	4262	346	636	161	0	18	545	502	6470
17年度	4870	415	686	188	134	21	616	516	7446
伸び率	14.3%	19.9%	7.9%	16.8%	100%	16.7%	13.0%	2.8%	15.1%

気軽に取り組んでいます ～実践者の声～

④を実践している、盛屋善策さん（望地＝写真）の感想です。

「分別回収の説明会で配布されたPRチラシを見て、手軽にできそうだなと思って始めてみました。作業は驚くほど簡単。材料も園芸店で手に入り、ダンボール箱で処理できるので、気軽に取り組んでいます。毎日の生ごみを自宅で処理できるようになり、最近は燃やせるごみの日に出す物はほとんどなくなりました」

環境保全活動に参加しませんか

申し込みはいずれも環境保全課へ

えびな環境市民会議メンバーと杉本小児童によるプールでの昆虫調査（昨年5月）

えびな環境市民会議

市の環境を守るため、市民・事業者・行政が一体となって独自の活動を行っている「えびな環境市民会議」。現在個人会員約90人、団体会員26団体の会員が4つの部会を構成し、活動しています。昨年度は、水生植物による河川の浄化実験、斜面緑地の植生調査、小学校のプールでの昆虫調査（写真）、海老名駅前でのポイ捨て防止キャンペーンなどの自主活動を行いました。また毎年、えびな環境市民大学やえびな環境フォーラムの企画・運営も行っています。環境保全活動に関心がある方の参加をお待ちしています。年会費は個人2000円、団体500円です。

こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、環境省が全国の小・中学生に参加を呼びかけている環境活動のクラブです。市内では5クラブ・約120人が会員として登録し（今年4月現在）、学校や地域で環境を守る活動をしています。小・中学生2人以上、大人の代表者1人以上のグループで登録してください（登録料無料、受付は通年）。登録すると、会員手帳や活動のヒントになる環境情報などを掲載した会報などが送られてきます。全国で多くのクラブが活動しています。

環境省主宰の調査・観察

Ⅰ～Ⅱとも、指導者を含め、3人以上のグループでお申し込みください。

Ⅰ全国水生生物調査

川の生き物を調べることで、川のきれいさを判定します。

▽調査期間　6月～9月

▽調査方法　調査地点を決め、川の中の虫や貝、カニやエビなどを採取し、指標となる生き物を集計します。

Ⅱ全国星空継続観察

大気の環境保全を目的に毎年夏・冬の2回、居住地付近で星空の観察を行います。

▽観察方法　肉眼や、双眼鏡を用いた星空の観察、星座の写真撮影。

平成17年度 環境調査結果

市では、大気・水質などの市内環境について、定期的に調査を行っています。

ダイオキシン類

大気中のダイオキシン類は、調査したすべての地点で環境基準を下回りました（左上表）。また、市内2カ所（勝瀬保育園、柏ケ谷中学校）の土壌中ダイオキシン類調査も環境基準を下回りました。

水質

河川の水質は、BOD（生物化学的酸素要求量。大きい値ほど汚染度が高い）などについて調査しました。主な河川は以前と比較すると改善しているものの、ここ数年は横ばい傾向です（左下表）。

また地下水は、①中新田地内の井戸、②河原口地内の井戸、③過去にトリクロロエチレンの測定値が環境基準（0・03㎎／ℓ）を超えた杉久保地内の井戸の3カ所で調査しました。この結果、③のトリクロロエチレン測定値は0・035㎎／ℓで、基準は超えたものの、13年度調査の最高値（1・0㎎／ℓ）と比較すると低濃度となりました。また①②では、トリクロロエチレンを含む環境汚染原因物質の全測定項目で環境基準を下回りました。

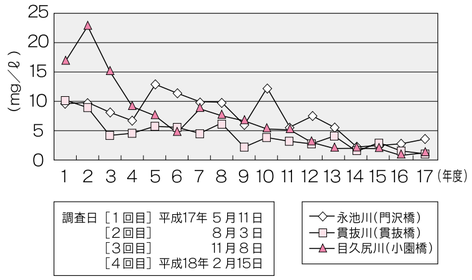
ダイオキシン類大気環境調査結果

調査地点	調査結果（pg-TEQ/㎥） 1回目	2回目	平均	環境基準
柏ケ谷コミセン	0.01	0.072	0.041	0.6
大谷コミセン	0.013	0.077	0.045	
上今泉コミセン	0.011	0.067	0.039	
社家コミセン	0.01	0.066	0.038	
下今泉コミセン	0.012	0.07	0.041	
本郷コミセン	0.0081	0.023	0.016	

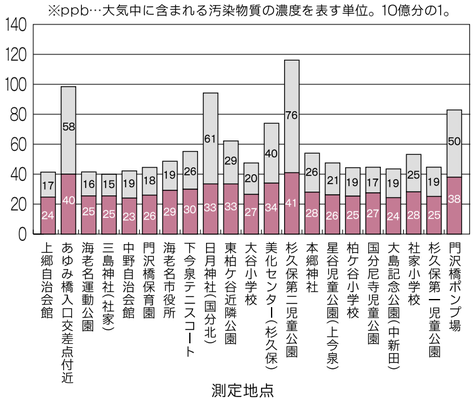
※pg-TEQ/㎥…水1立方メートル当たりのダイオキシン濃度。pg（ピコグラム）は1兆分の1グラム。

調査日　1回目：平成17年8月17日～25日
　　2回目：平成18年1月25日～2月2日

主要河川BOD経年変化（4回の平均値）



窒素酸化物簡易測定地点別年平均濃度



窒素酸化物

大気中の二酸化窒素などの窒素酸化物は、酸性雨や紫外線により光化学反応を起こし、光化学オキシダントを生成するなど大気汚染原因物質の一つです。

調査結果から、幹線道路沿いや渋滞の激しい交差点で高くなっていることが分かります。

なお、この測定値は簡易測定（PTIO法）のため、環境基準とは比較できません。

問 環境活動・調査結果など 環境保全課（☎235・4912）　ごみ処理・資源分別など 資源対策課（☎235・4922）